

平成 22 年（2010 年）3 月

沖縄地方の天候

平成 22 年 4 月 1 日 沖縄気象台

天候経過	1
平均気温・降水量・日照時間の 平年差（比）と階級	2
大気の流れ	3
日々の天気図・気象概況	4～7
地上気象経過図 名護・那覇・久米島・南大東島 宮古島・石垣島・西表島・与那国島	8～9
アメダス（月平均気温・月降水量・月間日照時間） 分布図	10
極値・順位更新表 生物季節観測表	11

本件担当：沖縄気象台業務課気候・調査室
お問い合わせ先：098－833－2186

天 候 経 過

2010年3月

沖縄地方では、期間中、高気圧の範囲内で晴れる日が多かったが、気圧の谷や前線の影響および高気圧のへりにあたり曇りや雨の日もあった。平均気温は各地点で平年を上回り、地域平均平年差は+1.3℃となったが、上旬の終わりや月末に寒気の影響を受け顕著な低温となるなど、気温の変動が大きかった。降水量は与那国島で平年と同じであった他は各地点で平年を下回り、地域平均平年比は44%で「かなり少ない」となった。名護では月降水量の少ない方からの極値を更新した。

気温：高い

降水量：かなり少ない

日照時間：多い

上旬：期間前半は高気圧の範囲内で晴れる日が多かったが、後半は前線や大陸高気圧の張り出しに伴う寒気の影響で曇りや雨の日が多かった。10日には寒気の影響で各地点とも冷え込んだが、平均気温は各地点で平年を大きく上回り、地域平均平年差は+2.9℃の「かなり高い」となった。

気温：かなり高い

降水量：平年並

日照時間：平年並

中旬：期間の初めと終わりは高気圧の範囲内で晴れる日が多く、中ごろは気圧の谷や前線の影響で曇りや雨の日が多かった。平均気温は各地点で平年を上回り、地域平均平年差は+0.7℃となったが、期間の初めは前旬から続いた寒気の影響で低かった。降水量は与那国島を除く各地点で平年を下回り、地域平均平年比は48%となった。

気温：高い

降水量：少ない

日照時間：多い

下旬：期間中、高気圧の範囲内で晴れる日が多かったが、前線の影響や高気圧のへりにあたり曇りや雨の日もあった。平均気温は南大東島を除く各地点で平年を上回り、地域平均平年差は+0.4℃となった。降水量は各地点で平年を下回り、地域平均平年比は28%となった。また、期間前半に各地で黄砂を観測した。

気温：平年並

降水量：少ない

日照時間：多い

平均気温・降水量・日照時間の平年差（比）と階級

2010年 3月

【上旬】

	気温 (°C)	平年差 (°C)	階級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階級
那 覇	20.8	+3.3	+	27.5	69	0	38.4	105	0
久米島	20.1	+2.6	+	41.5	81	0	27.2	84	0
宮古島	21.7	+3.1	+	12.0	30	-	48.7	139	+
石垣島	22.5	+3.1	+	4.5	12	-	53.1	150	+
与那国島	21.4	+2.2	+	57.5	121	+	27.1	108	0
南大東島	21.4	+3.2	+	6.5	28	-	48.9	107	0
沖縄地方		+2.9°C	+		63%	0		117%	0

【中旬】

	気温 (°C)	平年差 (°C)	階級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階級
那 覇	19.3	+0.6	+	8.0	12	-	43.9	147	+
久米島	19.1	+0.3	0	13.5	19	-	52.7	198	+
宮古島	20.8	+0.8	+	28.5	59	0	49.0	155	+
石垣島	22.0	+1.1	+	16.0	36	-	49.1	150	+
与那国島	21.4	+0.9	+	55.0	113	0	42.0	176	+
南大東島	19.5	+0.1	0	0.0	0	-	70.2	154	+
沖縄地方		+0.7°C	+		48%	-		165%	+

【下旬】

	気温 (°C)	平年差 (°C)	階級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階級
那 覇	19.7	+0.2	0	6.0	12	-	52.6	123	+
久米島	20.0	+0.5	0	18.5	24	-	59.5	158	+
宮古島	21.0	+0.4	0	10.5	24	-	51.5	121	+
石垣島	22.0	+0.6	+	5.0	11	-	54.6	124	+
与那国島	21.1	+0.1	0	41.0	71	0	29.7	96	0
南大東島	19.7	-0.3	0	1.5	5	-	59.2	109	0
沖縄地方		+0.4°C	0		28%	-		124%	+

【3月】

	気温 (°C)	平年差 (°C)	階級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階級
那 覇	19.9	+1.3	+	41.5	26	-	134.9	124	+
久米島	19.7	+1.1	+	73.5	37	-	139.4	145	+
宮古島	21.2	+1.5	+	51.0	39	-	149.2	137	+
石垣島	22.2	+1.6	+	25.5	20	-	156.8	140	+
与那国島	21.3	+1.0	+	153.5	100	0	98.8	125	+
南大東島	20.2	+1.0	+	8.0	9	-	178.3	122	+
沖縄地方		+1.3°C	+		44%	-		134%	+

- (注) 1. 「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。
 +: かなり高い(多い) +: 高い(多い) 0: 平年並
 -: 低い(少ない) -: かなり低い(少ない)
2. 「降水量」欄の - は無降水を示す。
 3. 沖縄地方の平年差（比）とは、那覇・久米島・宮古島・石垣島・与那国島の5地点の平年差（比）の平均値を示す。
 4. “)”付きの値は準正常値（欠測を含むが許容する資料数を満たす）を意味する。
 5. “)”付きの値は資料不足値（欠測を含む許容する資料数を満たさない）を意味する。
 6. 表中のデータは気象官署（气象台、特別地域気象観測所）における値である。

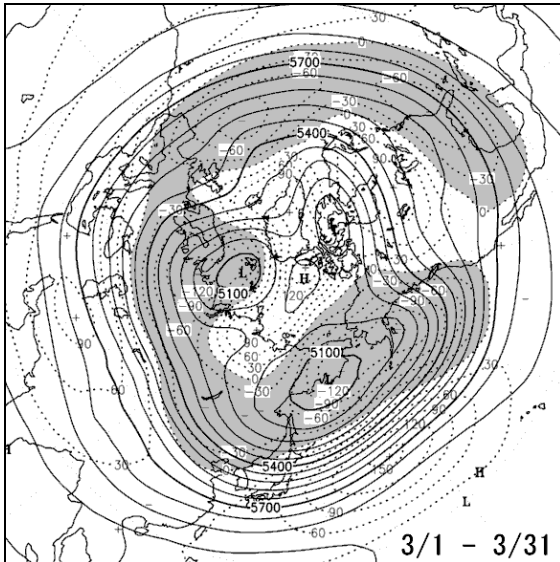
大気の流れ（北半球の天気図の概要）

2010年3月

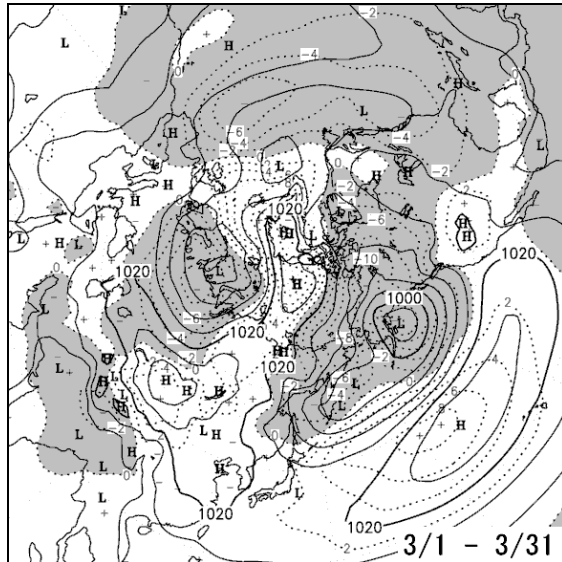
500hPa面の高度（左図）は、バイカル湖の西から中国東北区、オホーツク海を経て日付変更線にかけて平年より低く、その他の極東域の広い範囲で平年より高くなった。上空の大気の流れは、沖縄付近はほぼ西から東の流れとなった。

海面気圧（右図）では、沿海州付近からオホーツク海を経て日付変更線にかけて平年より低く、その他の極東域の広い範囲で平年より高くなった。

沖縄地方では、期間中、高気圧の範囲内で晴れる日が多かったが、気圧の谷や前線の影響および高気圧のへりにあたり曇りや雨の日もあった。



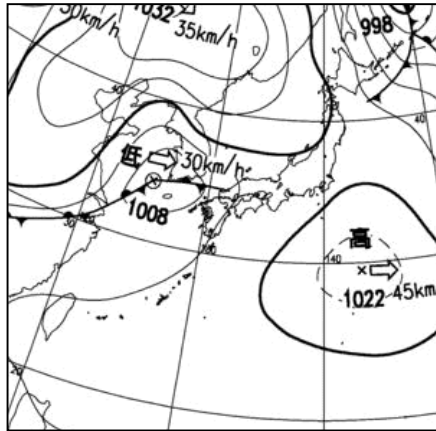
左図 北半球の500hPa面の平均高度
等値線の間隔は実況（実線）が60m、
平年差（破線）が30mである。
陰影部は高度が平年より低い領域を示す。



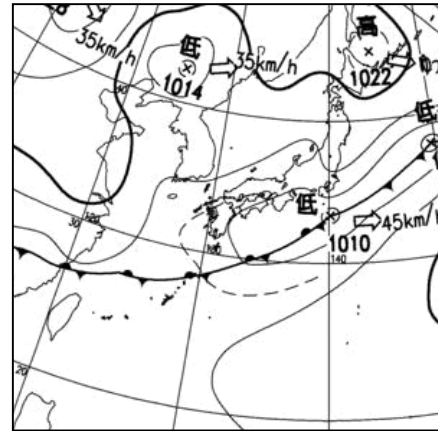
右図 北半球の平均海面気圧
等値線の間隔は実況（実線）が4hPa、
平年差（破線）が2hPaである。
陰影部は気圧が平年より低い領域を示す。

日々の天気図（午前9時）・気象概況

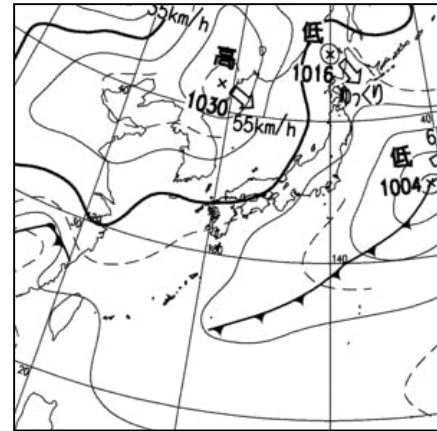
2010年3月1日～3月8日



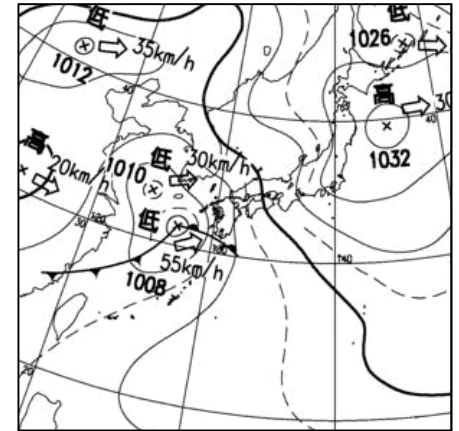
2010年3月1日
高気圧の範囲内となる。



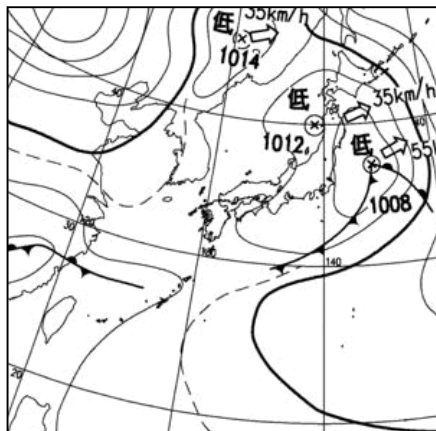
3月2日
高気圧の範囲内となる。本島地方は前線の影響を受ける。



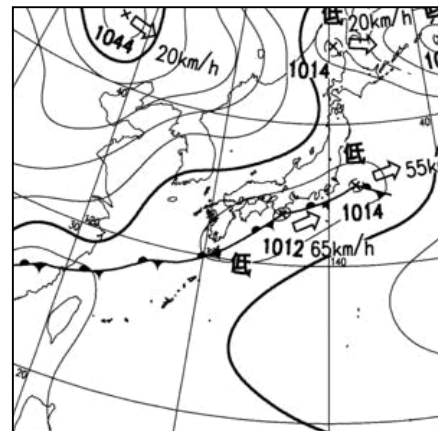
3月3日
高気圧の範囲内となる。



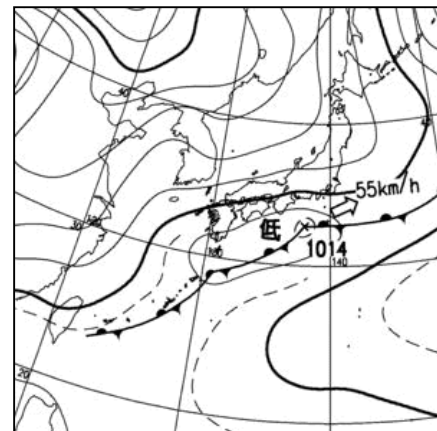
3月4日
高気圧の範囲内となる。



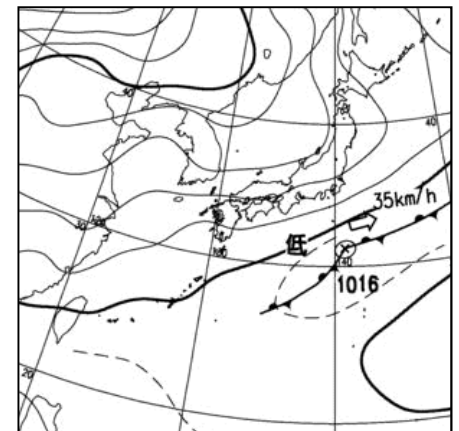
3月5日
高気圧の範囲内となる。



3月6日
高気圧の範囲内となる。与那国島地方は気圧の谷の影響を受ける。



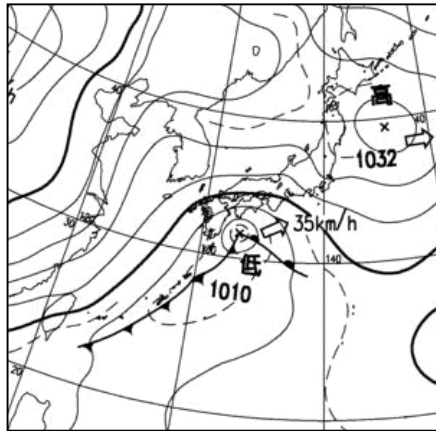
3月7日
前線の影響を受ける。大東島地方は高気圧の範囲内となる。



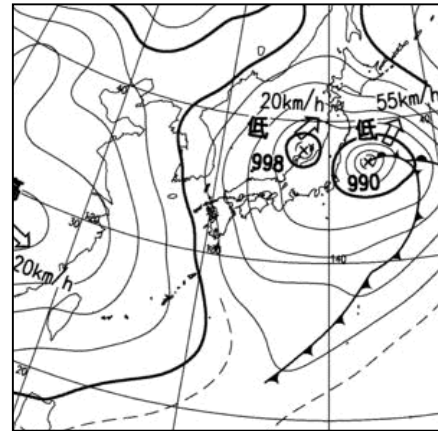
3月8日
前線の影響を受ける。先島諸島は高気圧の範囲内となる。

日々の天気図（午前9時）・気象概況

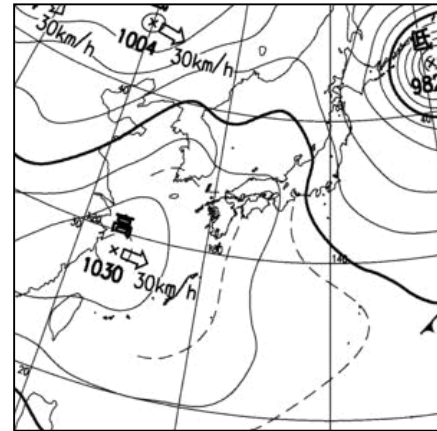
2010年3月9日～1月7日



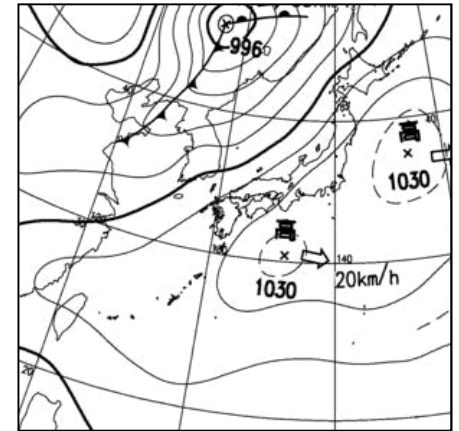
3月9日
前線の影響を受ける。



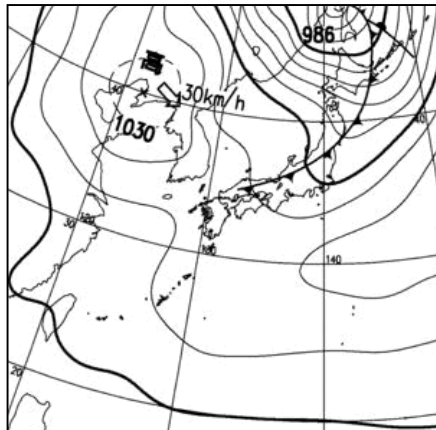
3月10日
大陸高気圧が張り出す。



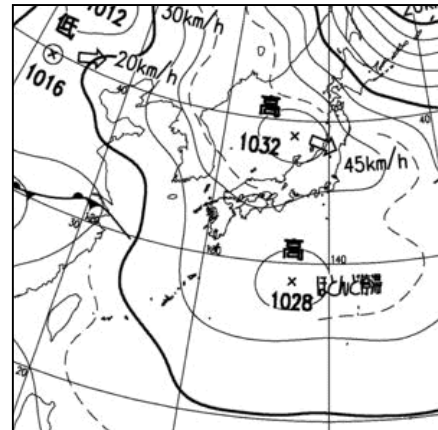
3月11日
高気圧の範囲内となる。



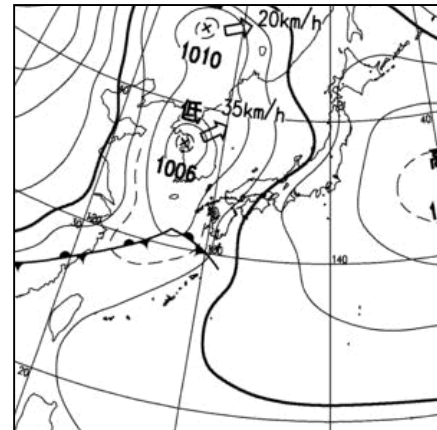
3月12日
高気圧の範囲内となる。



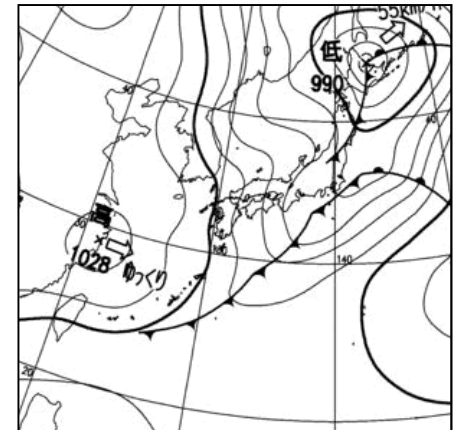
3月13日
高気圧の範囲内となる。先島諸島は高気圧のへりにあたる。



3月14日
湿った気流の影響を受ける。大東島地方は高気圧の範囲内となる。



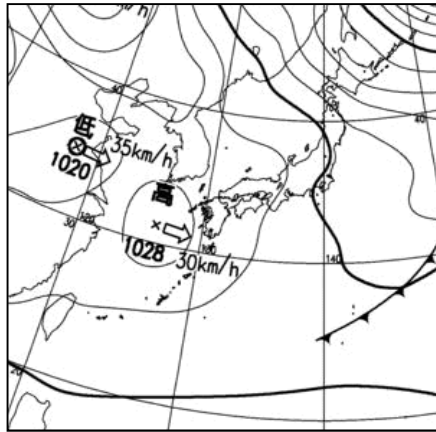
3月15日
気圧の谷の影響を受ける。先島諸島は高気圧の範囲内となる。



3月16日
前線の影響を受ける。

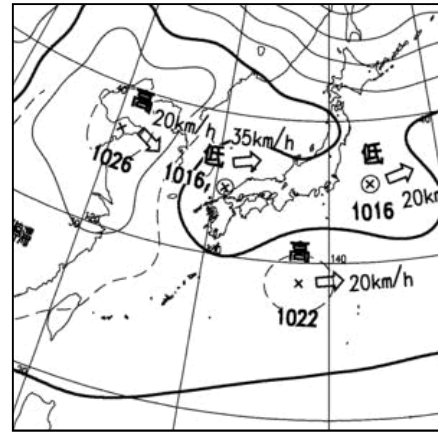
日々の天気図（午前9時）・気象概況

2010年3月17日～1月7日



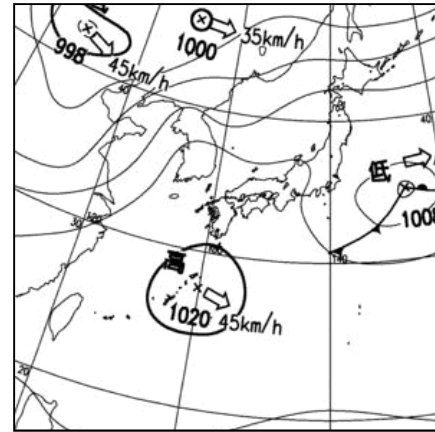
3月17日

高気圧のへりにあたる。大東島地方は高気圧の範囲内となる。



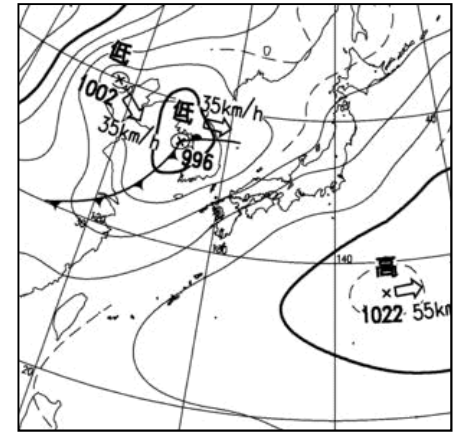
3月18日

高気圧のへりにあたる。本島地方、大東島地方は高気圧の範囲内となる。



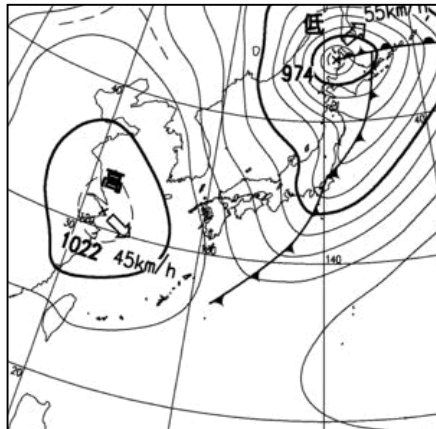
3月19日

高気圧の範囲内となる。



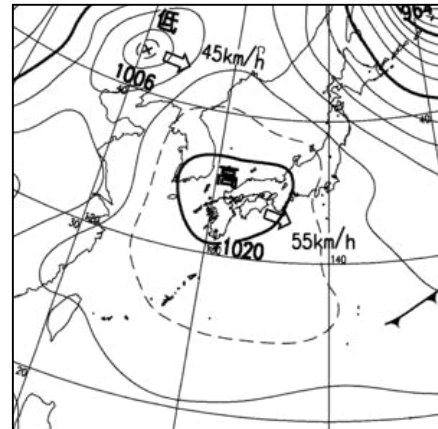
3月20日

高気圧の範囲内となる。



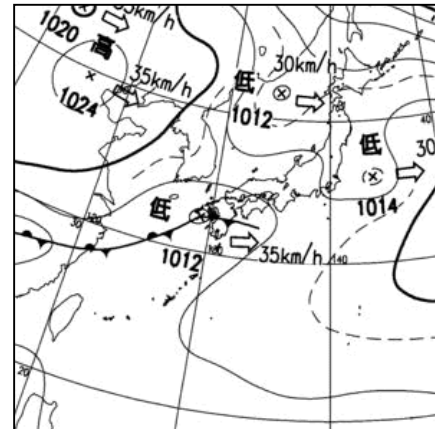
3月21日

高気圧のへりにあたる。本島地方は高気圧の範囲内となる。



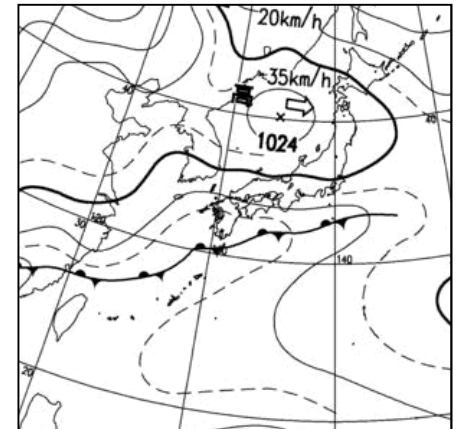
3月22日

高気圧の範囲内となる。



3月23日

高気圧の範囲内となる。

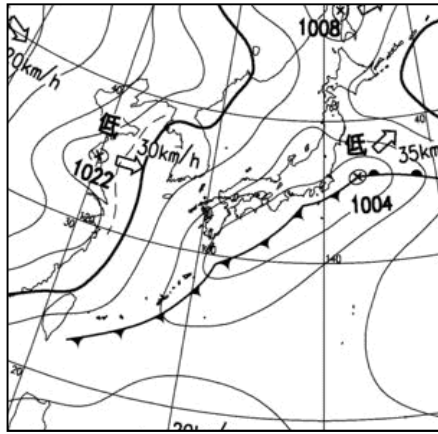


3月24日

高気圧の範囲内となる。

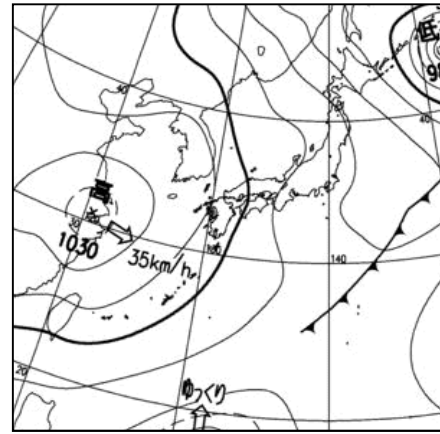
日々の天気図（午前9時）・気象概況

2010年3月25日～3月31日



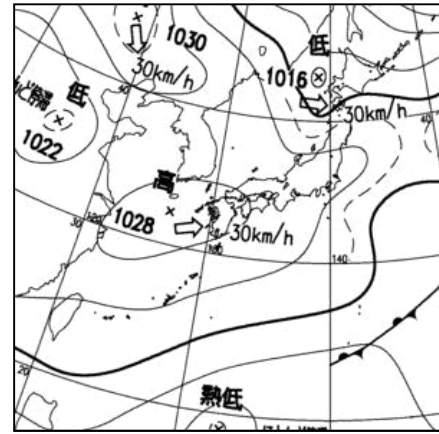
3月25日

前線の影響を受ける。



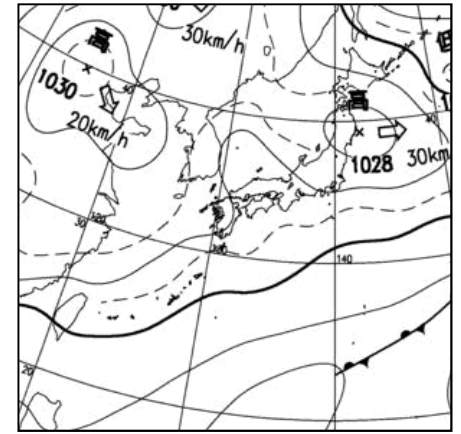
3月26日

高気圧のへりにあたる。大東島地方は高気圧の範囲内となる。



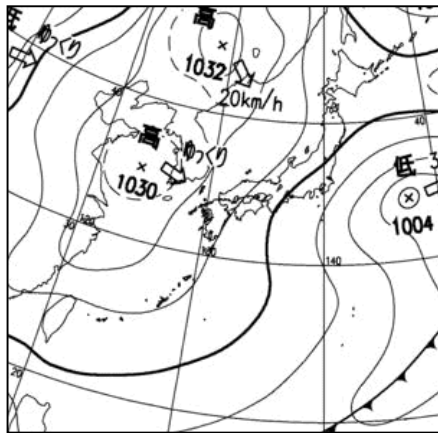
3月27日

高気圧の範囲内となる。



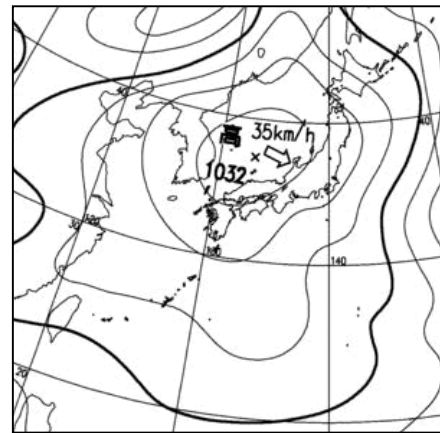
3月28日

高気圧の範囲内となる。八重山地方は高気圧のへりにあたる。



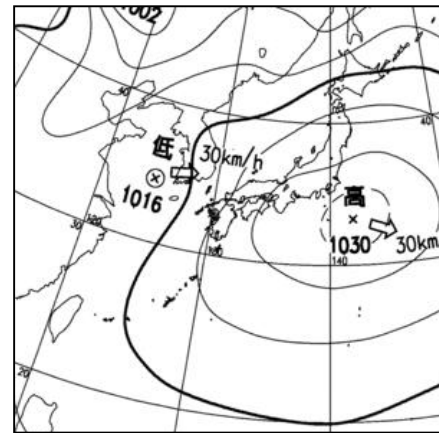
3月29日

高気圧の範囲内となる。



3月30日

高気圧のへりにあたる。

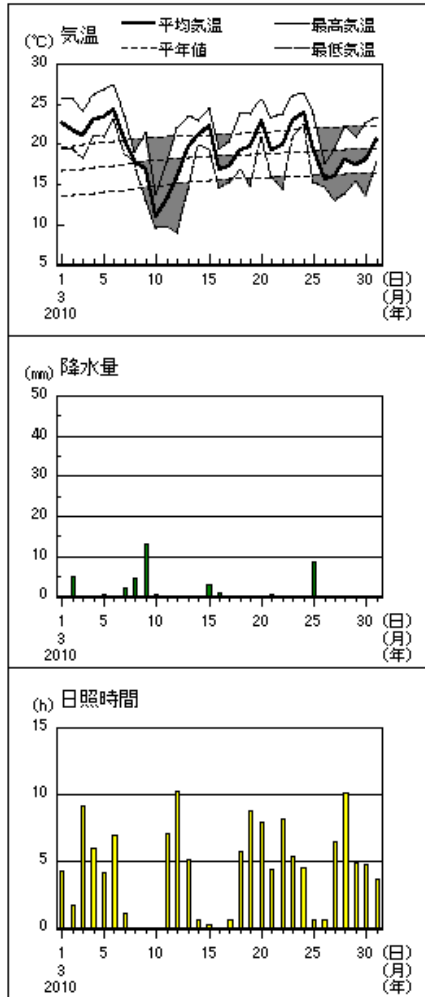


3月31日

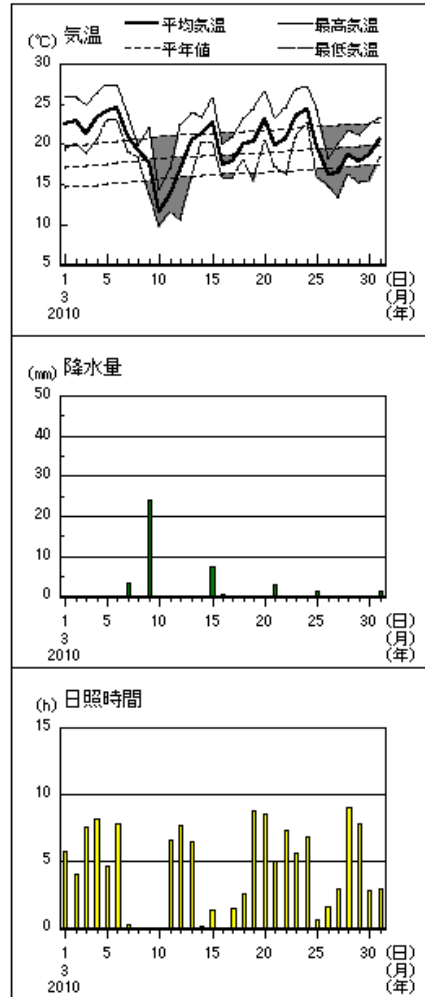
高気圧のへりにあたる。先島諸島は高気圧の範囲内となる。

地上気象：2010年3月1日-2010年3月31日

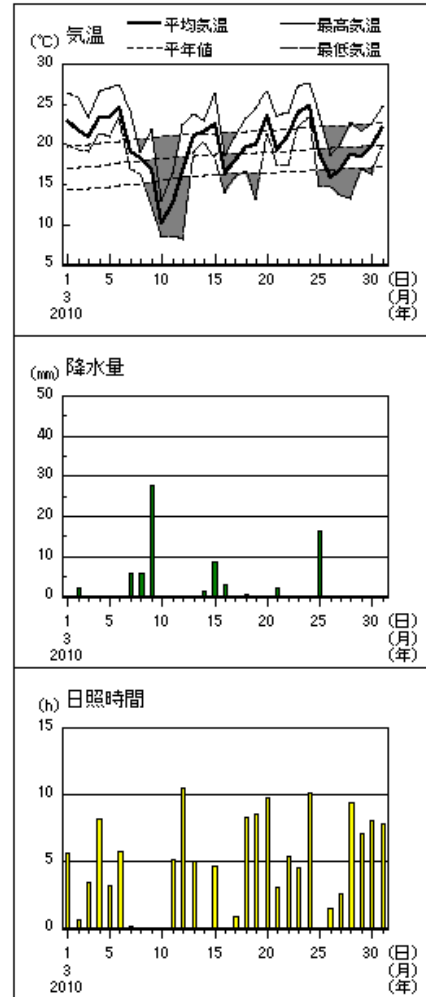
名護



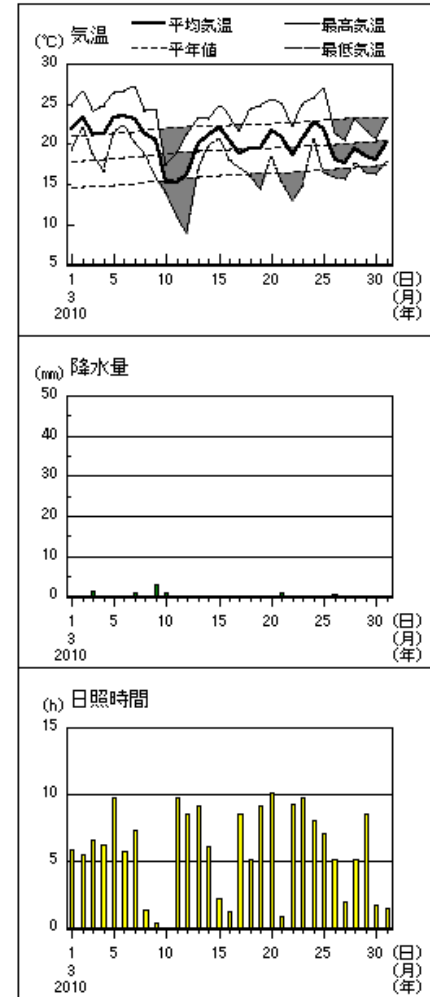
那覇



久米島

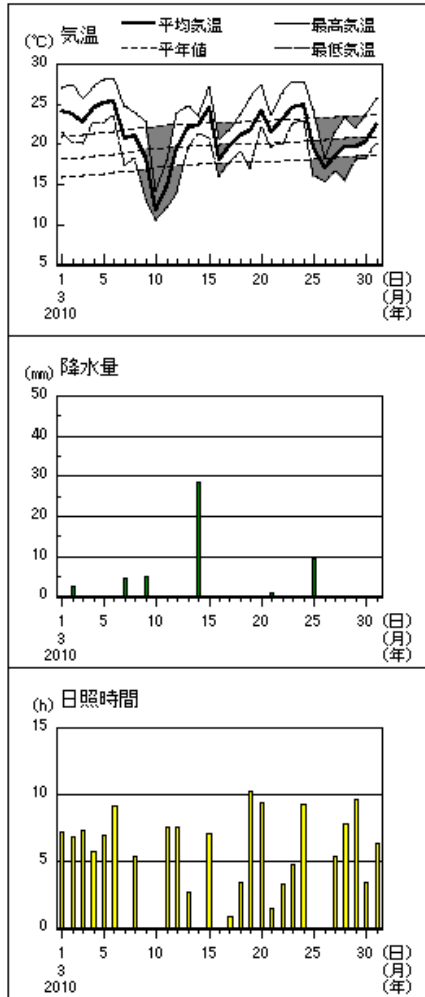


南大東島

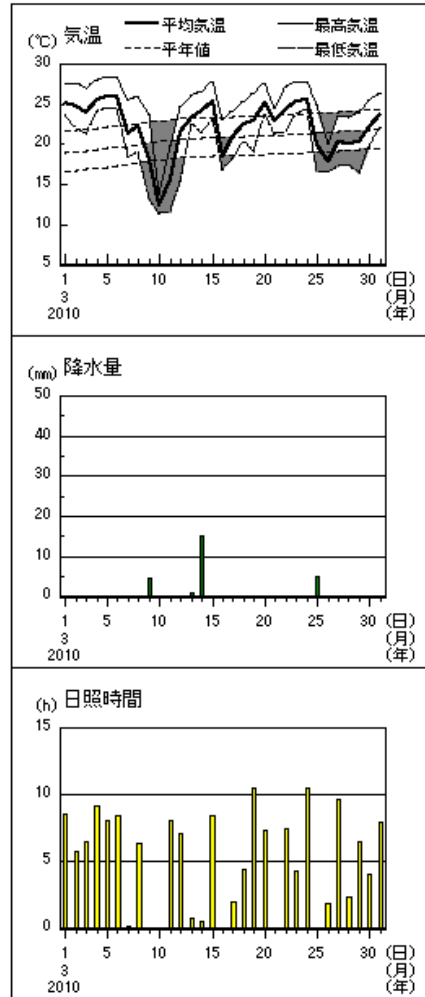


地上気象：2010年3月1日-2010年3月31日

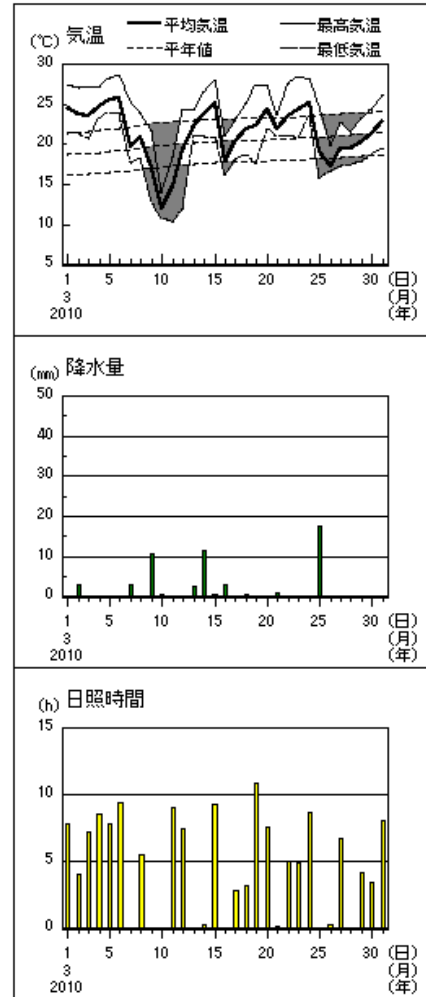
宮古島



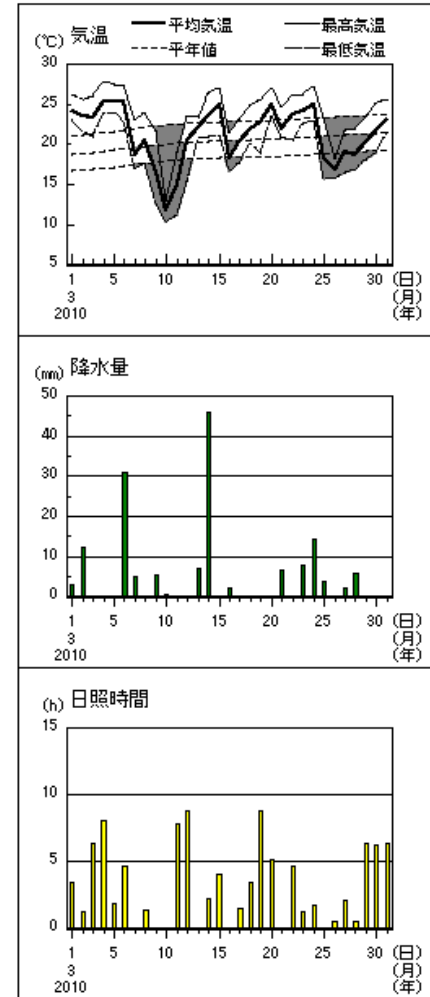
石垣島

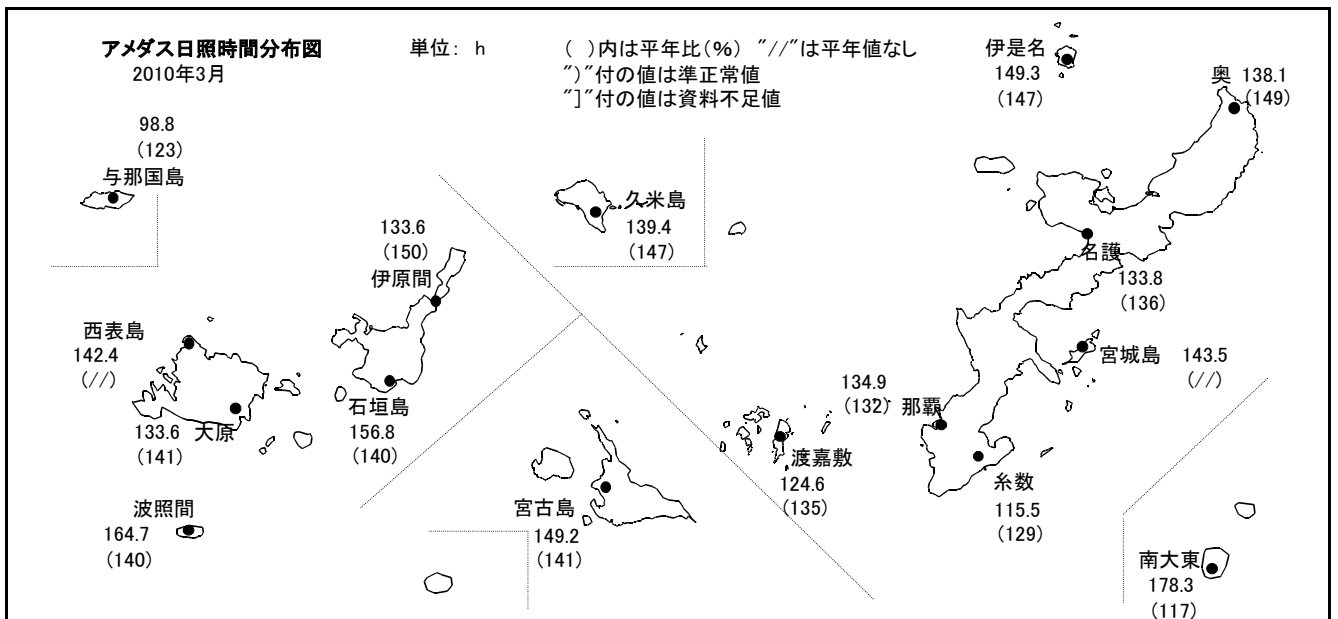
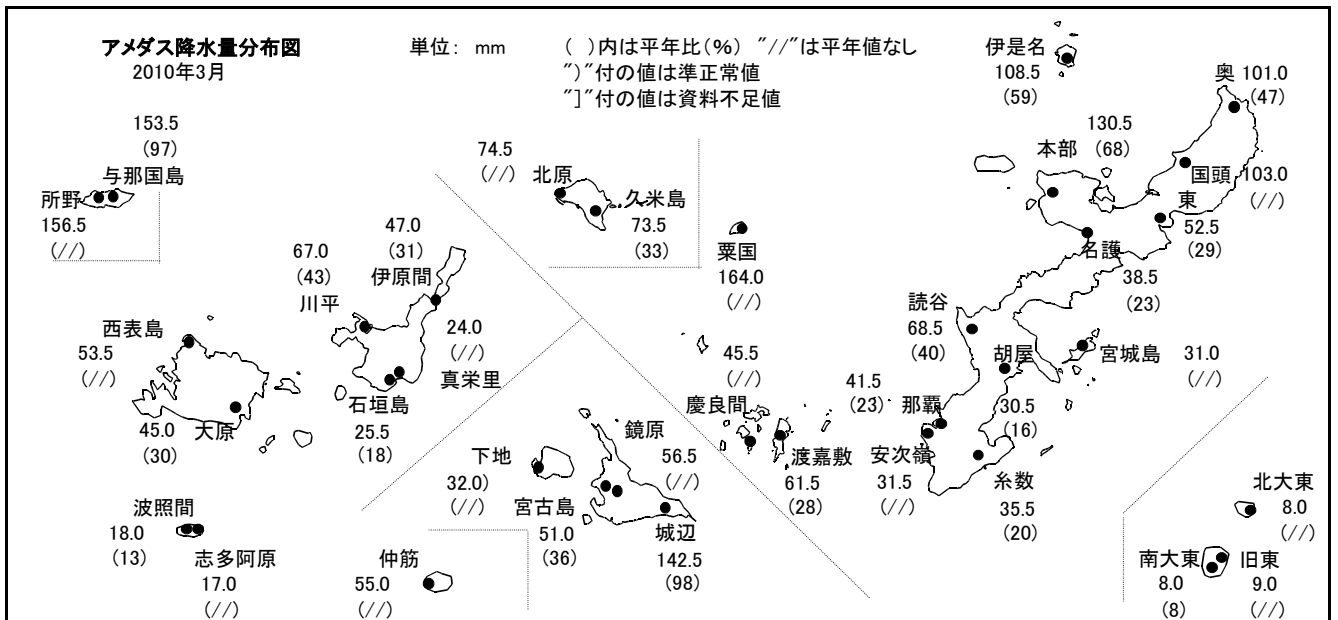
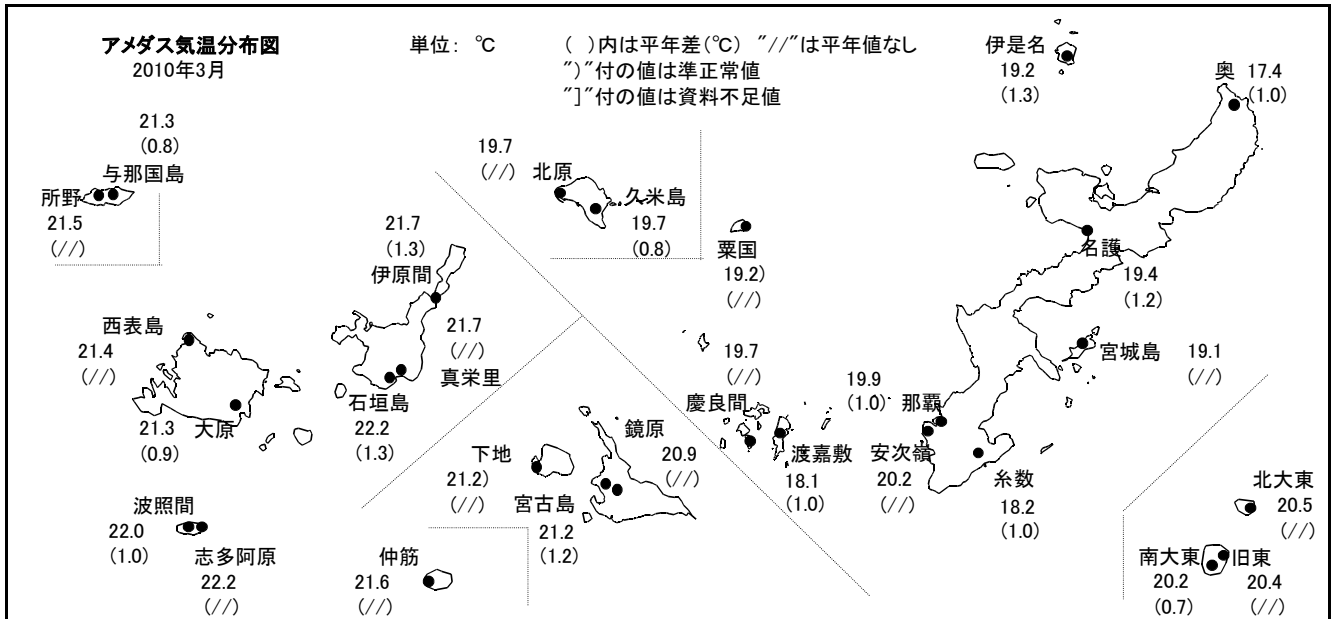


西表島



与那国島





- ・アメダス値は統計期間が短いため、気象官署の平年差(比)と異なることがあります。
- ・統計期間が短いため、平年値が無い地点があります。

極値・順位値更新表（月）

2010年3月

官署名	要素	更新した値	観測日（月）	順位	極値（観測日・月）	
名護	日最低気温の高い方から（℃）	23.0	2010年3月6日	1	22.9	1988年3月14日
名護	月降水量の少ない方から（mm）	38.5	2010年3月	1	48.1	1967年3月
南大東島	月降水量の少ない方から（mm）	8.0	2010年3月	3	3.5	1997年3月
西表島	月降水量の少ない方から（mm）	53.5	2010年3月	3	40.5	1977年3月

注1：日の統計値は1位更新、月の統計値は3位更新まで記載します。

注2：1位が更新された場合の「極値」欄は、従来の極値とします。

生物季節観測表

2010年3月

観測場所	種別（代替種目）	現象	本年発現	平年値	昨年発現	発現	最早日	最晩日
			月 日	月 日	月 日	平年差		
(1) 植物								
宮古島	テッポウユリ	開花	3月5日	3月28日	2月22日	-23	1月28日	4月27日
那覇	ヤマツツジ（ケラマツツジ）	開花	3月9日	2月13日	3月2日	+24	1月24日	3月14日
石垣島	デイゴ	開花	3月23日	2月27日	3月17日	+24	1月29日	4月15日
石垣島	テッポウユリ	開花	3月30日	3月24日	4月2日	+6	2月8日	4月20日
(2) 動物								
宮古島	ウグイス	初鳴	3月3日	2月17日	2月18日	+14	12月25日	3月21日
宮古島	ホタル（ミヤコマドボタル）	初見	3月14日	4月2日	3月5日	-19	3月4日	4月24日
石垣島	ウグイス	初鳴	3月17日	2月19日	3月4日	+26	1月1日	3月31日
宮古島	ツバメ	初見	3月17日	3月18日	3月15日	-1	2月8日	4月17日
石垣島	クサゼミ（イワサキクサゼミ）	初鳴	3月22日	3月27日	4月5日	-5	2月25日	4月23日
石垣島	ツバメ	初見	3月28日	3月8日	2月9日	+20	2月9日	4月24日
宮古島	クサゼミ（イワサキクサゼミ）	初鳴	3月28日	4月2日	4月6日	-5	3月3日	4月27日
南大東島	ツバメ	初見	3月31日	3月17日	3月2日	+14	2月20日	4月14日

注1：平年差の“-”は発現が平年に比べて早く、“+”は発現が平年に比べて遅いことを示します。